



2018年10月31日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 経営企画部長 竹下 功
(TEL 0584-93-0110)

中期経営計画「OCEAN-20」の見直しに関するお知らせ

当社は、2020年度を最終年度とする中期経営計画「OCEAN-20」を見直しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

<記>

1. 中期経営計画見直しの概要

創業80周年を機に、長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」を策定し、その実現に向けた具体的アクションプランである中期経営計画「OCEAN-20」を2017年度に策定し推進してきました。

2018年8月31日に Schrader グループが展開する米国及びフランスの自動車・タイヤ・空調・産業機器用等のバルブ開発・製造および販売事業を取得し、子会社化いたしました。これに伴い、中期経営計画「OCEAN-20」を見直しました。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取り組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

2. 2016年度実績と2020年度の見直し目標

	2016年度実績	2020年度目標 (前回：'17/10)	2020年度目標 (今回見直し)
連結売上高	1,036億円	1,400億円	1,550億円
連結営業利益率	8.4%	8%台	8%台
ROA(営業利益)	6.4%	7%台	7%台

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績の結果は記載の予想と大幅に異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

以上

中期経営計画「OCEAN-20」の見直しについて

創業 80 周年を機に、長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定し、その実現に向けた具体的なアクションプランである中期経営計画「OCEAN-20」を2017年度に策定し推進してきました。

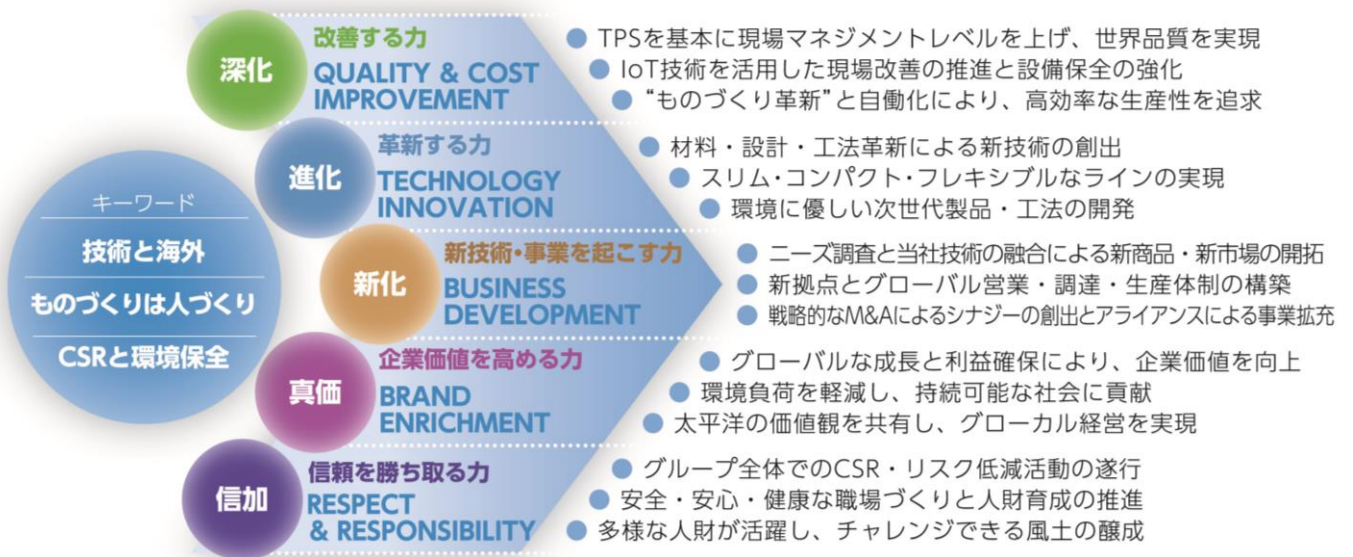
自動車業界の環境は、電気自動車・ハイブリッド車・自動運転といった次世代モビリティの普及に伴い大きく変化しており、当社がこれらの市場の変化に応え、新たな成長を遂げるためには、新製品・新技術の深化・拡充、新規顧客の獲得や北米・欧州を中心とした海外拠点の確保、コスト競争力の強化等が必要であると認識しております。

この様な環境変化をチャンスと捉え、当社は、Schrader グループが展開する米国及びフランスの自動車・タイヤ・空調・産業機械用等のバルブ開発・製造及び販売事業を取得し、子会社化いたしました。これに伴い、中期経営計画「OCEAN-20」を見直しました。

日本・アジア市場を持つ「PACIFIC ブランド」に加え、欧米市場において圧倒的な認知度を有する「SCHRADER ブランド」の使用が可能となる他、日本・アジア・北米・欧州に生産・販売拠点を有する「世界4極体制」の構築が実現できます。加えて、製品・技術ラインナップの拡充・製品開発力の向上及び、グローバル生産体制の最適化とシナジーの創出によるコスト競争力の強化も可能であると考えております。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

トップクラスのGLOCALな部品メーカーをめざす



TPS…Toyota Production System CSR…Corporate Social Responsibility

2020年度 目標(新)
 連結売上高 : 1,550億円
 連結営業利益率 : 8%台
 ROA(営業利益) : 7%台

